

平成 21 年 9 月 1 日

# 社内募金 6 7 1 万円を 社会福祉団体など 1 1 団体に寄付

朝日生命保険相互会社（社長 佐藤 美樹）では、毎年 7 月に当社および関連会社役職員による全社的な募金活動（「朝日の月醸金」と称しています）を実施しております。

今年度も昨年に引き続き、役職員の募金に加え、当社の退職者で構成される「朝日生命社友クラブ」からも募金を募り、それらに会社からの拠出金を加えた総額 6 7 1 万円を、社内の選考委員による投票で選ばれた社会福祉などの分野で活躍する 1 1 団体（別紙参照）へ寄付し、役立てていただくことといたしました。

この「朝日の月醸金」は、昭和 3 3 年、当社の創立月である 7 月を「朝日の月」と定めたことをきっかけに、「生命保険事業の社会公共性に鑑み、社会事業にいささかなりとも貢献する」という趣旨をもって開始し、今回で 5 2 回目という歴史を重ねております。

これまでの醸金累計額は約 2 億 9 千 8 百万円となりました。

## 寄付先と寄付金額（団体名 5 0 音順）

学校法人 愛育学園 愛育養護学校	6 1 万円
財団法人 アイメイト協会	6 1 万円
特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク	6 1 万円
財団法人 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」	6 1 万円
特定非営利活動法人 J. POSH（日本乳がんピンクリボン運動）	6 1 万円
財団法人 障害児教育財団	6 1 万円
夏目雅子ひまわり基金	6 1 万円
財団法人 日本アイバンク協会	6 1 万円
社会福祉法人 日本聴導犬協会	6 1 万円
社会福祉法人 日本点字図書館	6 1 万円
学校法人 日本聾話学校	6 1 万円
(合計	6 7 1 万円)

## 平成21年度「朝日の月」募金寄付団体一覧（団体名50音順）

### 学校法人 愛育学園 愛育養護学校

知的障害をもつ子どもたちが、自信をもって自分らしく生きていけるようになることを目指し、一人ひとりの子どもと丁寧にかかわる教育を実践している。日本では数少ない私立養護学校のひとつ。

### 財団法人 アイメイト協会

視覚障害者が独立の精神を持って一般社会のなかで生活し、積極的な生き方が実現できるようアイメイト(盲導犬)による盲人の歩行指導および日常生活指導、歩行指導員の養成等の事業を行っている。

### 特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク

子ども虐待防止のための啓発活動を行っている全国組織で、児童虐待防止法等を考えるシンポジウム、虐待死の根絶を願うパレードや、虐待防止の象徴としてオレンジリボンを広める運動を実施している。

### 財団法人 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」

同財団は、児童館活動の支援、児童文化向上のための活動などを幅広く行っている。「朝日生命伸びゆく子ども基金」は、それらの活動の一環として、「児童福祉文化賞」表彰などの支援をする。

### 特定非営利活動法人 J. POSH（日本乳がんピンクリボン運動）

乳がんについての啓発と情報提供、マンモグラフィー検診の普及促進ならびに患者と家族のサポートなどの活動を行っている。乳がん啓発団体としては全国に先駆けてNPO法人認証を受けている。

### 財団法人 障害児教育財団

心身に障害を持つ幼児・児童等の全てが、教育の機会に恵まれ、その能力・状態に応じた適切な教育を受け、社会に参加していく能力を得ることを目的に、心身障害児の教育に関する研究調査、教育相談等の事業を行っている。

### 夏目雅子ひまわり基金

がん・白血病治療の副作用による脱毛に悩む患者に無償でカツラを貸し出している。女優の故夏目雅子さんの遺志を継いだ遺族により設立され、その活動はマスコミにも大きく取り上げられている。

### 財団法人 日本アイバンク協会

角膜移植に関する研究の発展とその事業の促進に寄与することを目的に設立。角膜移植に関する事業の普及啓発、各地域アイバンクの業務の把握と指導・調整、角膜移植の研究・教育に対する援助等の活動も行っている。

### 社会福祉法人 日本聴導犬協会

聴導犬の育成を通じて、聴覚障害者への理解と聴導犬の普及促進、および障害者福祉の増進を図り、人間と動物の共存共生のできる街づくりに寄与することを目的としている。

### 社会福祉法人 日本点字図書館

盲人のための点字図書・録音図書の制作と無料貸出しを行うほか、盲人生活用具の開発と普及、中途失明者のための点字教室、視覚障害者用図書情報サービス等の事業を行っている。

### 学校法人 日本聾話学校

聴覚障害児の0歳からの早期教育と、先天性高度難聴の子どもに対する最新の補聴器を使った全人教育を行っている、わが国唯一の私立ろう学校。わが国ろう教育のパイオニア的な役割を担い続けている。

以上